



雨の日の交通事故防止



まもなく、梅雨や台風などの影響によって大雨の降りやすい季節がやってきます。雨が降った日の道路の特徴を知って、交通事故にあわない・起こさないように注意しましょう。

特徴①

路面が濡れて滑りやすい！

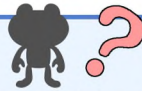


- ブレーキをかけたときに、車が停止するまでの距離が長くなります。止まり切れず、他の車などに追突する危険も！
- 急発進、急ハンドル、急ブレーキはスリップや横転の原因となります。スピードを出していると、さらに危険です。



特徴②

周囲が見えにくい！



- 日中でも薄暗いため、周囲の様子が見えにくくなります。
- 車のガラスの曇りや水滴の付着、夜間は濡れた路面にライトが反射するなどして、視界が悪くなります。
- 歩行者は傘を差すことによって、視界が狭くなります。

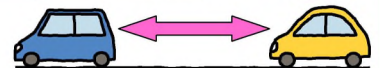


ドライバーの方は

周りをよく見て
慎重にいきましょう



- 速度を落として、車間距離を十分に空けましょう
- 薄暗く感じたら早めにライトを点灯して、歩行者・自転車などの発見に努めるとともに、自分の車の存在を周囲に知らせましょう
- タイヤやワイパーの摩耗に注意し、常に整備しておきましょう



いつもより間隔を広く



自転車の方は

- 傘差し運転はやめましょう！

傘で視界が遮られるのに加え、不安定な片手運転となるので大変危険です。



歩行者の方は

- 前が見えるように傘を差して、車などが来ていないか周囲の安全をよく確認しましょう
- ドライバーから見えやすいように、明るい色の服装や反射材を身につけましょう

